# 三原市地域公共交通活性化協議会　平成２１年３月１８日設置

## 概　要

三原市は、平成17年3月に1市3町が合併してできた人口約10万4千人の市で、広島県中央東部に位置し、市の南部地域は瀬戸内海と山地に挟まれた帯状の平地が広がり、北部地域は世羅台地の一部をなす丘陵状の平地が広がっている。

本市では、路線バスの運行支援をはじめ、スクールバスの自主運行や高齢者・障害者を対象とした路線バス優待乗車制度の実施等、多種多様な交通施策を行っているが、人口減少、高齢化の進行、市町合併による生活圏の広域化等に伴い、市民の生活交通に対するニーズが変化している。また、バス利用者の減少等に伴い地域公共交通に係る市負担も増加している状況にある。

こうした状況を踏まえ、合併後の新市における地域公共交通体系のあり方について検討を行い、平成21年3月に「三原市地域公共交通再編に関する基本方針」を策定した。

本年度は、この基本方針に基づき、地域公共交通の現状や利用者ニーズについて詳細な調査・分析を行い、地域の実情に即し持続可能な地域公共交通体系の構築に向けた総合連携計画を策定する。

### ○地域公共交通の概要

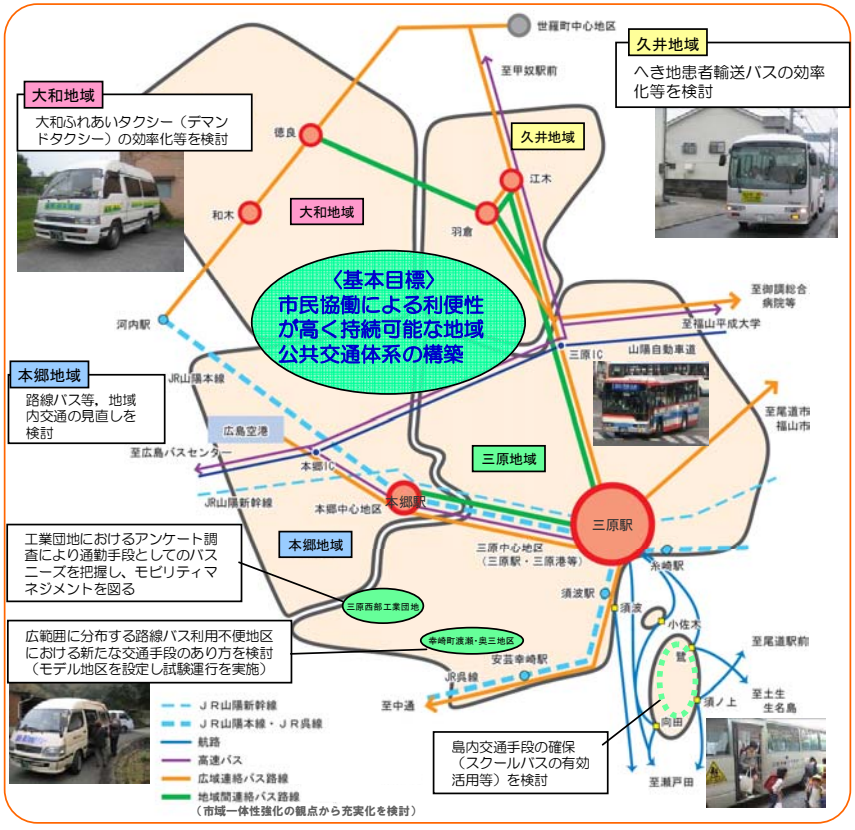
・路線バス（4社，23路線66系統）、高速バス
・へき地患者輸送バス、保育所等通所バス、小学校スクールバス、デマンドタクシー
・JR山陽新幹線、山陽本線、呉線　など

### ○地域公共交通の課題

・人口減少，少子高齢化の進行への対応
・市域の一体化の推進
・地域公共交通サービス水準の平準化（地域間差異の解消）
・地域公共交通の維持に係る市負担額増加への対応
・市民協働による地域公共交通の維持への対応

### ○調査事業の主な内容

・地域公共交通の現状と問題点の整理
・路線バスの利用実態調査及び運行カルテの作成
・離島における島内交通確保のための住民意向の把握（アンケート調査及びヒアリング調査の実施）
・「通勤手段としてのバス利用」に関する事業所意向調査（事業所及び従業員に対するヒアリング調査等の実施）
・地域公共交通に係る課題の把握

### ○策定する地域公共交通総合連携計画の構想　（予定）

・市民ニーズに対応した利便性の高い交通ネットワークの構築
・効果的・効率的な地域公共交通体系の構築
・市域の一体化を強化する地域公共交通の確保
・持続可能な地域公共交通体系の構築
・市民協働で地域公共交通を守り、育てる活動の推進